

## ◆ 少年よ だ円球を抱け!

森田博志 (S58卒)

背番号「20」は自信をみなぎらせグラウンドに現れた。余りにも厳しい場面に、しかし、周囲はそう見なかった。全国中継していたTVのアナウンサー氏が不安そうに言葉をつなぐ。

「最初のプレーがビッグプレーということになってきますね」。「まず、しっかりボールを真ん中に入れることです」。応じたベテラン解説者の陳腐に聞こえた答えが、むしろ、緊張感を増幅させた。

昨秋の11月23日、東京・秩父宮ラグビー場。伝統の第87回慶早戦はハイライトを迎えていた。あと30秒ほどで、慶大は10年ぶりの勝利をつかめるが、最後のピンチだった。マイボールといえ、スクラムの位置は自陣ゴール前15メートルほどの右中間。リードは2点。反則も許されない。ここで先発スクラム・ハーフが故障し、試合の行方をみづめていた20番に声がかかった。

解説者の心配は、しびれるような局面で投入された控え選手が、その雰囲気にもまれないか。スクラムへのボール投入で単純なノットストレートをしてしまわないか、というものだった。

2万2121人の視線を一身に集めた172センチの男は、そんな柔ではなかった。ボールを確保しながら時間を稼ぐために、だ円球を軽やかに擲く。1回、2回、3回、4回。最後は味方選手が大きくけり出し、喜びの輪が広がった。この4回のパスに、彼の7年間のラグビーが凝縮されていた、と言っていい。

福岡市立壱岐丘中の野球部では主将で捕手。修猷館に合格して、彼はふと考えた。「甲子園と花園。チャンスがありそうなのは、どっちか」。そして、選んだのは、だ円球だった。実際の確率がどちらが高いか別にして、OBの皆さんが脈々と築いてきたものが、貴重な人材を一人確保したことは間違いない。

兄が大学でラグビーをやっており、知らないスポーツではなかった。それでもルールやパス、タックルの技術……最初は右も左もわからなかった。なのに、なぜか楽しかった。同じスクラム・ハーフだった渡辺先生は「突出した技術がある選手ではなかった。ただ、ヒントを与えるとそれに向かって努力できた」と振り返る。

2年になって慶大の指定校推薦があることを知る。「文武両道でラグビーもトップレベルを経験してみたい」。だから、定期試験を大事にした。3年になりレギュラーをつかむ。花園出場の夢はかなわなかったが、慶大商学部への推薦入学が決まった。

「レギュラーになりたい、とは思っていましたが、現実を知らなさ過ぎました」。入部して、伝統ラグビー部の選手層の厚さ、個人の技術の高さを痛感した。ここで、また、考える。10人以上いるスクラム・ハーフの中で試合に出るにはどうすればいいのかわからない。「捌き。パスだけは誰にも負けないようになろう。そこに賭けました」。そして、もう一つ。修猷の重いグラウンドに感謝する。「3千メートル走などフィットネスでは常に上位をキープすることができた。それと、4年間、けがすることなかったのはあの

グラウンドで鍛えられたおかげです」。実際、2年の時には、ライバルにけがが相次ぎ、早くも黒黄のジャージーを着た。最後のシーズン、慶早戦に続き、大学日本一になった帝京大に土をつけたのも、彼のパスが生かされたからだった。

「砂のグラウンドですり傷を作っては膿んでいたことが思い出深い。そこで、ひたすら走って、ひたすらタックルして、気持ち、泥臭さが身につきました」。そこに慶大の理論が加わり、才能を開花させることができた。

小斉平聖人(H19卒)。国内有数の海運会社にステージを移し、海外での大勝負を夢見る。

出会いの春、1人でも多くの少年がああグラウンドでだ円球に触れ、それぞれの未来を自ら拓いてくれば、と願う。(敬称略)



..... 編集後記 .....

この原稿を書いている最中に、未曾有のカタストロフィ(東日本大地震)の報が入りました。信じられない光景がなんどもなんどもテレビから流れ、日本人皆心痛にうちひしがれております。修猷館ラグビーOBクラブ名誉会長の柴田先輩(S32卒)は長いあいだ新日鐵釜石におられ、釜石のその様子にこころを痛められております。心中お察し申し上げます。他にも修猷館ラグビーOBクラブのメンバーの方にも被害の関係者がおられると思いますが、心よりお見舞い申し上げます。さて現役諸君は、日本人のそして修猷館ラグビーの誇りと勇気と希望を示すため、かれらに今できること、自らを鍛えに鍛えております。我々修猷館ラグビーOBクラブのメンバーは、彼らに未来を託すためにサポートを惜しまず団結してまいります。

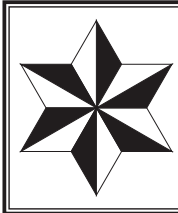
《事務局からのお願い》

平成22年度分のOB会費を納入された皆様にはこころより御礼申し上げます。誠に恐縮ですが未だ未納のかたは3月31日までに納入されることを、切にお願いいたします。

★年会費 7,000円 (学生 3,000円、70歳以上 5,000円)

★振込先 西日本シティ銀行 西新町支店 普通 1336258

修猷館ラグビーOBクラブ



# 修猷館ラグビーOBクラブ

## 会報 平成23年3月号

修猷館ラグビー部 公式ホームページ  
URL <http://shuyukan-rugby.com/>



## ◆ 「伝統は着実に・・・」

修猷館ラグビーOBクラブ会長 安部直幸 (S41卒)

修猷館ラグビー部の伝統は着実に受け継がれている。

昨年11月7日、満員の春日原球技場での福岡県大会Bパートの準決勝戦。

この数年来の宿敵で、なかなかゴールラインを割らせてくれなかった強豪筑紫高校を相手に念願の2トライを挙げ、見る者に最後まで逆転の可能性を抱かせながらも一歩及ばず、ワンゴール差の14-20で残念ながら、しかし堂々とかつ爽やかにピッチを去っていった、古城主将率いる平成22年組の3年生達。

我々初老のOB連にも「GOOD LOSERとは、このような姿だったのか!」と熱くなった目頭を押さえながら、改めて気づかせてくれた心に残るエピソードだった。

修猷館ラグビー部の伝統に依れば、現役諸君の責務は、

- ① 先輩たちの業績を超えること、または超えるべく最善の努力を惜しまぬこと
- ② 自分たちの業績を超えていくことのできる後輩たちを育成すること

である。平成22年組は、見事にこの責務を果たしてくれた。

これを引き継いだ東主将率いる平成23年の現役諸君、先ずは第一関門であった1月のサニックスユース予選で、四日市農芸と長崎北には苦杯をなめたものの、群馬の東農大二高と関西の近大付属には完勝し、全国大会の平均レベルには手が届く実力であることを証明してくれた。

最近の練習試合を見るたびにチーム力は着実に進化している。

平成23年組の諸君! 君たちの貴重な1年間を 悔いなく 大きく 伸びやかに!

### ● 発行 / 修猷館ラグビー部OBクラブ

事務局 / 松尾 邦雄 (S46卒)

〒811-1347 福岡市南区野多目5-10-45

T E L 092-541-5503  
携 帯 090-3012-0903  
F A X 092-551-7290  
E-mail mactaiho@san.bbiiq.jp

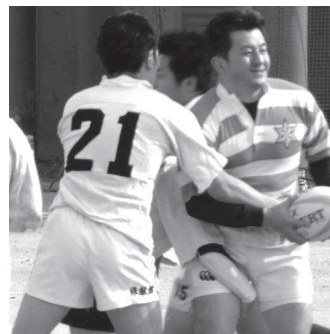
## ◇ 2011 初蹴り会レポート

松尾邦雄 (546卒)

平成23年1月2日、恒例の修猷館ラグビーOBクラブ主催、初蹴り会が修猷館高校グラウンドで開催されました。昨日までの冬将軍の影響で天候が心配されましたが、朝、目覚めると日も射し、なかなかの天気で、グラウンドにまいりますと冬将軍名残の雪溜まりがあちこちに、それでも寒さのともせずという猛者が三々五々集まってまいりましてOB戦と相成りました。

今年も去年に引き続き、現役諸君はグローバルアリーナにてワールドユース大会の国内予選会参加のため不在。それでも「正月は修猷のグラウンドに顔を出さなきゃ」というOB諸兄が100余名が参集、OB戦に出場したのが40余名という盛況に相成りました。

OB戦出場者は若手が多数、年寄り組最年長が松本抄二郎君と私、他に淵本君、松本四王起君、松尾真典君、奥山君、中山君等若手に混じってよたよたしながら元気いっぱいゲームを楽しみました。昭和53年の全国大会出場時の黄金のバックスが5人顔をそろえ「来年はみんなジャージーにきがえるじょ」と声高々に。その後、貸し切りバスにて大応援団が星野幹事長はじめ、他OBの皆さんが多数参加され、なごやかな新年会一次会がバスの中で催されました。



グローバルアリーナでの現役は、奇しくも昨年と同じ四日市農芸戦で、昨年は何とか勝利をものにすることができましたが、今年は完膚なきまでにやられ、なごやかムードが一変し酒を飲まれない星野幹事長の頭からカッカと熱い湯気が立ち上っておりまして。ただ翌日からのゲームで東農大二(群馬)と近大付属(大阪)戦での勝利の報を聞き、溜飲を下げることができました。

気を取り直して帰路につき、新年会本番会場の西新「じゃかも」に参集。最初は年寄り組が10数名ばかりでしたが、だんだん若いOBが集まって50名ほどになり盛大な会に相成り、武藤副会長は若い学生の女の子の子OBに「先輩、就職よろしく〜」などといわれて喜んでおられました。

安川先輩がいつも言われる「初蹴りは花園で」を実現するためにOBの力を結集しましょう。ただ修猷館のグラウンドで初蹴りするときにはオーバー40のOB戦をしましょ。来年はスパイク持って1月2日、修猷館のグラウンドに集合!!

## ◇ サニックス2011ワールドユース交流大会予選会 試合結果 (1/2~5)

お正月返上のうえ、凍えるような雨の中で、4日連続の激闘。本当にお疲れ様でした。

選手・マネージャーのみなさん、ご指導にあたってくださった先生方、応援に駆けつけてくださった保護者、学校関係者、OBの皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

### <試合結果>

#### ★ 1月2日(日)

修猷館 0-27 四日市農芸  
(前半 0-12 後半 0-15)

#### ★ 1月3日(月)

修猷館 19-7 東農大二  
(前半 5-7 後半 14-0)

#### ★ 1月4日(火)

修猷館 24-5 近大附属  
(前半 14-5 後半 10-0)

#### ★ 1月5日(水)

修猷館 5-28 長崎北  
(前半 0-7 後半 5-21)

修猷 2勝2敗 10位決定

今回、強豪校との対戦から得た「自信がついたプレー」と「修正が必要なプレー」を一人ひとりが自ら磨き上げてください。全選手がその成果を存分に発揮し、チーム全員が連携し相手に走り勝つような、「台風の目」になることを祈っております。キックオフ直後から畳み掛ける圧力に期待しています。

